

率先しよう  
LEAD THE WAY

# IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin



RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881

例会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121

会長/中西 勝 幹事/辰巳克平 会報委員長/野田征夫  
委員/吉田 明、黒田悦男

姉妹クラブ:台北 西北区 扶輪社 1967年6月7日締結  
双子クラブ:インドネシア・チネレRC・ジョグジャカルタRC 2004年7月19日締結

No.15 平成18年10月25日

## 本日の卓話

10月25日(水)

「クラブ協議会」

RI第2660地区IM第2組

岩井祐造 ガバナー補佐

## 出席報告

| 第2303回例会 |    |    | 前々回(第2301回) |    |        |
|----------|----|----|-------------|----|--------|
| 会員数(免除)  | 出席 | 欠席 | 出席率         | 欠席 | 補正出席率  |
| 29(8)    | 14 | 7  | 66.67%      | 4  | 80.95% |

## 例会記録

第2303回例会 10月18日(水)晴

ロータリーソング「茨木ロータリークラブの歌」斉唱

## 会長の時間

中西 勝会長

来週は岩井祐造ガバナー補佐をお迎えしての例会、その後のクラブ協議会があります。

ガバナー補佐制度ができるまでは、ガバナー公式訪問で、例会とクラブ協議会をしていましたが、ガバナー補佐が誕生しました年度(2002~2003年度)からは、ガバナー補佐でクラブ協議会を行い、それをガバナーに報告され、その上でガバナー公式訪問の例会が開催されるようになりました。また、ガバナー公式訪問も、茨木3RC合同で行うようになりました。今回は茨木東RCがホストで、岩田宙造ガバナーをお迎えして、11月16日(木)に開催されます。

RIや2660地区が推奨している効率的なロータリー活動を推進するためのクラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)についてのお話が主になると思われます。

地区では、各ロータリークラブのCLPに対する取り組み状況をアンケートなどで調査しています。



来週の岩井祐造ガバナー補佐訪問の例会には、できる限り多くの皆様のご出席をお願いします。またその後のクラブ協議会は15時迄の予定ですが、各委員会委員長はもちろんのこと、皆さん残って出席していただきますようお願いいたします。

また、昨日10/17はローターアクトの理事会に出席してきました。茨木RACは会員数が減少し存続に危機的状況でしたが、今年度初めに配布された茨木RACの資料には、8名の会員の顔写真が掲載されていました。前回8/22に出席したときは9名と聞きました。先月「新世代のための月間」9/13にRACの宮川君と近藤さんが来てくれましたが、近藤さんの報告でも9名でした。しかし、昨日はもう1名入会され、10名となっていました。来年度7/1からは15名にまで増強したいと努力中だそうです。

「茨木RAC例会・理事会出席分担」の割当日には出席しアドバイス、交流をお願いいたします。

## 幹事報告

辰巳克平幹事

### 1、RI及び2660地区連絡事項

- 1) クラブ・リーダーシップ・プランに関するアンケート依頼
- 2) 2007年国際大会登録について(ご希望の方は事務局まで)
- 3) 秋のライラ登録者に記念品
- 4) 次年度ガバナー公式訪問に関する問い合わせ

### 2、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 大阪鶴見RCより「留学生による日本語作文コンクール賞作品集」
- 2) RAC9月度大阪北ゾーン連絡協議会議事録次回開催2007年2/26(月)  
於：ガバナー事務所会議室



## 委員会報告

### 米山記念奨学会寄付報告

本日笠原会員、野田会員、多田会員、吉田会員よりご寄付を頂きました

本日計 75,000円  
本日までの合計230,000円

## 卓話

### 「商売の基本・経営の要諦」

(松下電器創業者 松下幸之助の講和より)

岡野 彰会員

#### 1. 世間は正しい

世間の見るところは常に正しく健全だとし、その世間を信頼することが、日々の商売を力強く進めていくためには大切だと考える。

世間一般は非常に正しい判断力を持っている、正しいことをやれば正しいと判断してくれる。

世間に正しいと評価してもらえることは、安心して経営に携わることが出来る、とともに自らの経営の信念というものに結びつく。

#### 2. 商売は真剣勝負

商売は時の運、勝つときもあれば、負けるときもあるとよくいわれる。しかし、こと商売

において、そんなことは許されない、商売は真剣勝負と考える。

真剣勝負では、ひとたびチャリンと音を立てて刃を交えれば、勝つか負けるかどちらか一つである。首をはねたり、はねられたりしているうちに勝敗が決するということはない。商売もそれと同じで、時によって損もし得もするが、それをくり返しているうちに成功するものだ、と考えるのは根本的に間違っている。また商売がうまくいかないのは、環境でも時勢でも運でも何でもない、その経営の進め方に当を得ないところがあるからだ、と考えなければならない。

#### 3. 一人の責任

一人の大將が天下をおこし、一人の大將が繁栄した天下をこわす。

会社が発展するのもしないのも、結局のところは社長一人の責任であると考える。

例えば「社長が東へ行け」といった場合、「いや西へ行きます」という社員は滅多にいない、だから社長が東へ行けといて失敗を招いたなら、それは明らかに社長一人の責任である。同様に、一つの部、一つの課が、良い成績を示すも示さないのも、あげて部長一人、課長一人の責任である。

全員がそれぞれに、「一人の責任」を自覚し、自主的に創意工夫をこらして仕事に取り組むことである、それが「自主責任経営」といえる。

#### 4. 企業は誰のもの

どのような企業でも、本来は、人びとのために、社会に役立つために存在している。

企業経営は私事ではなく、天下の人、天下の土地、天下の金を使って経営を進めている、従って私企業といえども「社会の公器を預か

っている」と考えねばならない。

たとえ個人の企業であろうと、私の立場で考えるのではなく、常に共同生活にプラスになるかマイナスになるかという観点からものを考え、判断しなければならない、そこにおのずと公平無私な企業の経営が生まれる。

人材の活用でも自分一人の都合や利益のために人（従業員）を使っているのではなく、世の中により役立つために人（従業員）に協力してもらっていると考えれば、そこに一つの信念が生まれてくる。

## ニコニコ箱

米山奨学生の為にご寄付をお願いします 笠原  
10月14日に弊社20周年記念祝賀会を開かせて頂き皆様と楽しい一時を過ごさせて頂き本当に有難うございました 多田  
クラブ奉仕が出来ず申し訳ありません 田中  
ベトナムのタオさん有難う、頑張ってください 倉内、長澤

写真を頂いて

秋山、久保、中西、野田、朱、多田、辰巳

本日計 35,000円

累計979,100円

## 次回卓話

「R財団の現状」

地区財団奨学金・学友委員会

委員長 溝畑正信氏